Vol.21 No. 5690 Monday February 8 1926

TAIRIKU NIPPO

大正十五年二月八日（日曜日）第五千六百九十號

TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
138 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, B. C.

本紙定價（前金）
壹ヶ月七拾五仙
六ヶ月四弗貳拾五仙
壹ヶ年八弗貳拾五仙
發行所
株式會社大陸日報社
社長 山崎寧
バンクーバー市東カードバ街一三五
電話シー三〇六五

バンクーバー街二五四
すから何本御用
命の御用上ます
バンクーバー街七五三
電話バ一三四六
田口製麵所

御用の節は懇意にて仰付け下さい
良なるそば干そば

日會總會の一瞥(八)

◇安寧なる財源

日會の財政の基礎を固くする爲めには、常より、出來得る限りの收納方針を執り、收納金を積極して、支出額の必要に迫られる時の、不時の支出に應じ得るやうにしなければならぬのだが、其收納とは、收納組成に決濟し、特別會計の制度を活用すれば、或程度までは濟み得らるゝ事と思ふ。

問題は、收納組成の基礎となすべき財源の如何であるが、夫れに就ては、(一)俸給、(二)賠償、(三)保險料、(四)寄附金、(五)基本金及積金の利子の五つをかぞへ得る。

併しながら、其の中、最後の、基本金及積金の利子は、昨二五年度よりで、——

(一)基本金利子　三四・九五弗
(二)本會積金利子六三・二五
(三)對外貸金部利子　五二・五五
(四)教育收濟資金部利子　二四・五〇
合計　一七五・二五

即ち僅に百七十五弗餘に過ぎなかつたものなのだ。——而して夫れが、一昨年度に於ても亦、二百二弗二十仙丈けのものであつた——從つて夫れが、財源と稱すべき程の大袈裟なものでない事は申す迄もない。

第四の寄附金も亦、日會の確定財源とするには甚だ心細いものなのだ。——この金額の多少といふよりも、其の性質に於て、甚だ不安定なものだからなのだ。——即ち、最近十二箇年中、最も少かつた一九一七年度に於ては、僅に二百五十餘弗であつたが反對に、最も多かつた一九二一年度に於ては、二千五百弗以上にもなつて居るものなのだ。

尚ほ此の金額よりいふも亦、一九二三年迄の十箇年の平均が、九百弗迄らずに過ぎず、其後も、一九二三年　七五二弗
一九二四年　八七〇弗

一九一九年　三九五弗
一九二〇　八九八
一九二一　八八〇
一九二二　三九九
一九二三　三一四
一九二四　三一六〇
一九二五　三、一四二

從つて二三年以後の四箇年丈けの平均を取れば、大體、年收二千九百弗に確定して居る所のものなのだ。

更に、日會の主要なる財源の一つ、保險料に就て云へば、其の値上げ後、次の通りの年收のあるものなのだ。（百弗以下四捨五入）

一九二二年　七、一〇〇弗
一九二三　六、一〇〇
一九二四　五、八〇〇
一九二五　六、一〇〇
一九二六　六、〇〇〇

是れも、最近の四箇年分の平均を取る時に、略ぼ確定的に六千弗の年收を見込み得る所のものなのだ。

自然、是れも、結局は、日會の五つの財源中、收納金の多く、且つ安定なる財源としては、俸給、賠償、聯絡費、（保險料の三つを擧げ、其の總計としては、年々一萬四千弗と概算し得るものなのだ。

併し乍ら、同じく確定的財源の中にありても、實は、第三の保險料に就ては、其の將來に、頗る不安の點なきに非ず、是れ、日會の像算編成に當り、最も注意を要する所なのだ。（未完）

其の時々の事ども

東洋文明と西洋文化(八)

文學博士　内藤虎次郎

これをヨーロッパの古書の裝釘にさへも自國の意匠でなくて、アラビヤ、ペルシャ等の東方の模倣であり、しかもひやみに寶石をちりばめた俗惡な趣味と比べものにはならぬ。近代の蒐集は研究の點においてはもとより感心すべきものがあるが、その古代藝術の趣味の中に生活する點において支那人日本人の如く、これと同化する程度までに至つてゐるや否やといふことは疑問である。

○

要するに東洋殊に支那、日本等の文化生活といふものは原始生活から文明生活に入る過程に數千年前に通りこして、文明生活の利用厚生を主とする以上に、更に生活の趣味化、藝術化を早くから考へてをつたのである。天然を征服する、即ち人工の極度に出來たものを利用することに滿足せずに、更に天然を醇化するために天然の保護育成を努めることを考へて、人類が選擇した最もよき天然と同化して生活するといふことを最後の目的としてゐるのである。かくの如き文化は利用厚生を主とした文明生活を以て、最も善いものと考へてゐるヨーロッパ人、殊に米國人などの想像し及ばぬところである。

○

一つ支那、日本における文化生活において特別な點は古物の利用といふことである。支那においてはすでに宋の時代からして出土の古物等を尊ぶやうになつて、その研究は盛んになつたが、近世になつて、その古物を生活に取り入れることになつて來た。

○

このことは日本において最も盛んに行はれて、茶人の趣味といふやうなことは、多くこの方に傾いた。一方からいふと古物を研究の對象とせずに生活に利用するといふことは、古い藝術品に對する尊特のやうでもあつて、その利用の程度は極めてむづかしいものであるが、しかし支那人の如く數百年前からして教養ある階級の生活には古物の必要を感じて、その居室には宋元版の書籍、唐宋時代の奉宋元の陶磁器、三代の鼎彝といふ如きものを備へつけてゐるといふことを尊ぶのは、隨分趣味として發達したものといはねばならぬ。

（續く）

教育談義(七)

永澤六郎

◇教育調査の解說◇

（前回に永住の決心續き）

◇上記の如き、云はゞ鄕心の發露は、自然の人情であると云へば夫れ迄であるとしても、尤々、「秘藏」といふもの〻種類は、決して「出稼ぎ」とは同一のものにあらず、仙國內に移住して、其所を「永住」の地となすといふものたるに於ては、彼らに故國に執着を殘すは、品國根性の發揮と評せられても是非なき事なるべく、其の點に於て、在加日本人も、勇猛心を振ひ起して、其の、鄕國主義よりも來れる數百年來の惰性を打ち破らねばならぬ。

◇同じやうな現象は、加奈陀日本人會の「會報」第二號（一九二五年度農業調査）によれば、回答者三百十七名中、

永住決心者　二八二名
永住の意志なき者　二二名
不明のもの　一四名

で、農業者中の永住決心者は、全數の大約九割に當つて居るとの事である。

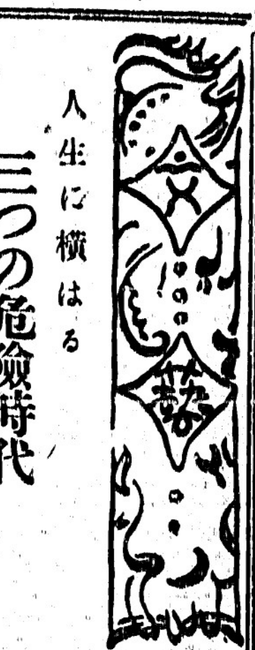
◇唯だ加奈陀日本人會の「一九二五年度農業調査」によれば、回答者三百十七名中、

熊本	二六八	五三
福岡	三三一	六六
鹿兒島	二三〇	一一
神奈川	一〇三	一六
山口	一一九	一五
岡山	一〇八	四〇
宮城	五八	二二
島取	一八三	三四
靜岡	八二	一六

◇同じやうな現象は、加奈陀日本人會の「會報」第二號（一九二五年度農業調査）によれば、回答者三百十七名中、

永住決心者　二八二名
永住の意志なき者　二二名
不明のもの　一四名

で、農業者中の永住決心者は、全數の大約九割に當つて居るとの事である。



人生に横はる

三つの危險時代

（一）

賀川豊彦

人生には三つの危險時代がある、一九一〇ロシヤ革命の失敗後、一時ロシヤに自殺する者さへある、即ち、子供の時期が最も盛んな十四歳前後、大學卒業期にある二十四歳前後、青年期を過ぎて壯年期に入らうとする三十三歳前後、これら轉期が最も危險な時代である、不良少年研究の統計によると十四歳前後のものが一番多く、十七歳位になると其數がやつと減少して、此の時代から特殊の者を除いては、殆んど凡人のやうな頑強な青年が出來上がり、中學校よりやがて專門學校、或は職業的方面に一定の位置が出來て來ると、生理的の成長は止まり、精神的の活動をしなければならなくなるがこの時代が無難の時である、即ち生の目ざめ共に最も危險な誘惑が起つて來る、この時代の前後には何事たり共驚くことなく、容れざる感情のために急激な變化をなし、最も惨憺になると二種の革命を要求し、若夫れが燃せられない場合は自殺的な態度に出て自殺するやうに生理學的に一定の年齢に達すると、自殺する者さへある、一九一〇ロシヤ革命の失敗後、一時ロシヤに自殺の大流行を見たのなど同一の現象である、日本における最も危險な犯罪の大部分は青年期にある二十歳前後の者であつて、彼等は全く自己を忘れて亂暴な行動に出ることが少くない、これを一面から見れば、即ち自己を忘れてまで突進してゆく强い心――そこには云ひやうのない魅しさがある、それだけに又一層危險がまつはるのである、これは男子のみでなく婦人も同じであつて、廿七歳前後を經てしまふと大抵性格がおちついて來て共にあまり變化しないが、其の前後においては、若し不測の境遇の變化にぶつからば、驚くべき危險狀態にはいることがしばしばある、ある者は自殺として紅燈の世に自らの貞操をひつさげねばならぬ破目に陷り、ある者は更に危險な劍の刃をわたるやうな犯罪に自らを置くことがある、これらは皆生理的の變化に及ぼす影響からである、同時に社會的變化、經濟的變化が青年たちに與ふる刺戟も激烈で、中年期をすぎた人々には餘之はさほど苦痛でないが、青年期の人達には堪へられぬ惱みであつて其處から皮肉的精神が釀されてゆく、殊にさうした青年男女がその苦みの餘りついに（無手數）の思想に移つてゆくことは往々私の見た處である、その最初は堪へがたい不滿から憤然な刺戟の强い衝動に驅られ、次第に感化されて亂暴な思想を持つ樣になるのであつて、それは今も昔も變らない、又日常新聞紙などを見てもかうした方面の犯罪が、廿歳から廿三四歳前後の青年に多い事がうなづかれやう。（つゞく）

戲曲　生命の木

（四）

成瀬無極

病妻　智さん、なうか落ち付いて下さい、お願です。子供は私が引き取つて、きつと育てます。醫人もの命に係はることです。さうか、私に免じて、暫し合つて――萬事私にすませて――姉の舞生は十分におさせ申しますし、お金ですむことならば、私がどうともして、――智さん、どうぞ聞いて下さいまし、一生のお願ひです。

四家

（夫、妻、夫人、醫官）

夫　醫者なんぞ呼ぶと承知しないぞ。

男　承知しなけりや、どうするといふんだ。まあ、一緒に警察へゆかう、出るところへ出れば分るんだ。

夫　よし、ゆかう。

女　旦那、まあ、お待ちなすつて兄さん――

男　さあ、來い、こゝい、止めるな。

（女を振り放す）奥から病妻がよろけながら駈け出る。

病妻　待つて下さい。待つて下さい。

夫　お前は――そんな體で――いいから、あつちへいつて――

病妻　いゝえ〳〵、私、何ぞかしますから、あなたこそ、あつちへ――貴女、どうもありません――お願に嫁りは――

女　醫者がすみません（泣き伏す

夜學へ通つて 五十の手習ひ

新聞 のひろい讀み位は出來るやうになつたのだが、其の間には疲れてゐても眠の上に字を書いたり、默つて立つても居られず、子や副祝したが、さすがのうつも

組織 的に習つたのでないから今度は多少振仮名を打つために

夫婦 仲よく子供を育てるには

自宅 にこの位な素養は必要なるに相違なるべく、うんな人から習つたのです」と云ふ

小糠三合の悲哀 高等女學校出の娘と 小學校を出ぬ養子

フミつけられて離婚の裁判

小糠三合の譬の悲哀を誘にた大阪市北區堂心町二丁目一四土木請負業仲谷彌太郎と長女豊子（一九）の離婚訴訟事件は、豊子が目が見えないので目にれ方からこそ〳〵仕あげた幸福を思ふ若い婦人のみを採用するさうだ、最初は第一期生として十名位を採

愛は虚榮より も強し 大阪四天王寺境内の紙衣堂に 捨子した母親の哀話

一月十六日午後四時頃大阪天王寺境内の紙衣堂に四天王寺境内紙衣堂のところで子供の泣き聲を聞き、聲をたよりに行つてみると、お堂の北側の石の上に張ナトンにくるまつた可愛い女の子が乘つてゐあつた。抱き上げ附近に連れ來て

保護 をした——同じ日のたそがれ頃、子供の乘つてゐあつた附近を徘徊する一人の女の擧度がかしいので調べて見ると乘兒の母親であつた、大阪市東成區玉津町五一九大工職佐々木幸太郎（四）内縁の妻森田うつ（二七）は去る大正十一年結婚し昨年八月父子をうけたが、打ち續く不景氣に家計はおさへられてゐた肉親の情は、はでは夫幸太郎を呼び出しつ子をとめて目さめて、反動的に強くな抱かせて、今後二人とも不心得をり、今は慾も得もなく可愛い子供想さや

夫婦 仲よく子供を育てるには、自分のふところにとりもどさ

自宅 にこの位な素養は必要なるに相違なるべく、うんな人から習つたのです」と云ふ

小糠三合の悲哀 高等女學校出の娘と 小學校を出ぬ養子

フミつけられて離婚の裁判

小糠三合の譬の悲哀を誘にた大阪市北區堂心町二丁目一四土木請負業仲谷彌太郎と長女豊子（一九）の離婚訴訟事件は、豊子が目が見えないので目にれ方からこそ〳〵仕あげた幸福を思ふ若い婦人のみを採用するさうだ、最初は第一期生として十名位を採

珍らしい 航空女學校 最初は十名だけを募集

飛行家宗里悦太郎氏が經營してゐる神奈川縣鶴見海岸浦立地第一航空學校ではこんど女子のみを收容する航空學校を新設することゝなり目下いろ〳〵準備に忙殺されてゐる、兵頭精子さん以來女流飛行家はかなり澤山だけれどもどうも終りを全うしたものが少いのでくまでも航空事業のために盡すと云ふ志操の堅い相當教育のある若い婦人のみを採用するさうだ、最初は第一期生として十名位を採

日本汽船切符販賣 法律事務、通辯代書 切、其他一般代理業

晩香坡市バウエル街（二三一）〇七
電話事務所シーモア八六七エル
自宅フェヤモント（八六七ノ一）
井手兄弟商會

電話事務所シーモア八五二ル 山田事務所 山田

晩市二ノ街（二四）
自宅フェヤモント（七六ノ一）

各專門醫紹介 通辯 （代書事務一切ニ關シ土地家屋修繕其他代理事務一切）

バウエル街二四五
電話シー一六五六
濱岸事務所
（自宅東ヘンダー街二二三）
醫學得業士 日下清方
電話ハイ二〇一三エル

東カドバ街四三八
醫師 石原明之助
電話ハイランド一一二

診察時間

毎日朝九時より夕七時まで
日曜祝日は正午十二時まで
晩市アレキサンダー街五二二
電話ハイ二三八六アール

診察時間

午前十時ヨリ十二時まで
午後二時より六時迄
日曜休日（十一時ヨリ一時迄）
バウエル街三九一
醫學士 高橋康百
電話オフイス、シー五三二〇
自宅東ヘンダー街二〇一四
電話ハイ四三二〇エル

ロビー・シー州公認歯科醫

バウエル街二一〇
下高原醫院内
影山歯科醫院
電話シーモア二四九八

三宅歯科醫院

ドクトル 三宅榮壽
東（スタングス街二一番
電話シーモア 八六八六
自宅 電話ハイ二一二五アール

晩市バウエル街三九六
葛原 歯科口腔外科醫院
電話シーモア六一九〇
ステブストン分院（尾浦氏宅）出張（火金）午後七時より

士地實業通辯 法律事務代理業 △無料人事相談所

△大陸傷病保險會

寄稿 史歌劇 宮島物語（二）

水戸愛川

場所 安藝國宮島
時 戰國時代
登場人物
千若丸（毛利元就の嫡子）
乳母（千若丸の臣）
召使姫（陶晴賢の娘）
腰元（安田姫の侍）
千若丸の侍女（御仙の修行付）
熊谷（同）
序歌
それ憂苦想民の沙漠
迷沒輪廻の業の火に
炎々深々焼きつゝて
息ふに家なき是非もなし。

荒夜叉獨唱
若紫相離す亂世の
榮華に憧がれ權勢戀ひ
朝は荒野に夕は深山
風露風雪に身をさらし

コーラス。若父の爲に菩提せり

千若丸獨唱
八萬四千の煩惱に苦悩は
燒けてこがれて焦熱地獄
苦惱に沈むぞあはれなり

コーラス。苦惱に沈むぞ哀なり

◇——大元神社前多佳島に包まれた海に大鳥居が浮んでゐる。かそ映きの候がまた葉櫻の間々に殘つてゐるのが、燈籠の灯影に映つてゐる。千若丸を中心に荒夜叉及び侍女が舞臺一面に並んでゐる。

千若丸「ウム、大儀であつた。永い間志してゐた宿願が達せられるかと思ふと、何だか心の底からうれしく思はれる。」

荒夜叉「殘虐な戰ひには全くつかれて了ひました。名譽のため、地位の爲めに、何の罪もない人民を殺すことはあまりに厭かはしい行爲で御座います。」

千若丸「わしの魂は、わが毛利一門の武力の爲めに無惨に壓げられた人々の魂に魅いられてゐる。荒びゆく千若が心を嘲ら

千若丸◇荒夜叉に振り向き）荒夜叉、今宵の入山の用意は整ふたであらうのう。」

荒夜叉「は。先程から僧都様を初め御役僧集のお手を借りまして萬事相整へました。この上は千若丸様の御入山を待つばかりで御座います。」

千若丸「ウム、大儀であつた。永い間志してゐた宿願が達せられるかと思ふと、何だか心の底からうれしく思はれる。」

荒夜叉「殘虐な戰ひには全くつかれて了ひました。名譽のため、地位の爲めに、何の罪もない人民を殺すことはあまりに厭かはしい行爲で御座います。」

千若丸「わしの魂は、わが毛利一門の武力の爲めに無惨に壓げられた人々の魂に魅いられてゐる。荒びゆく千若が心を嘲ら

すために一刻も速かに出家せねばならぬ。」

荒夜叉「戰亂の世の中は怖らふ御座います。一日もゆつたりとした心持でゐることが出來ませぬ。」

千若丸「彌仙の山深くかくれて家はかなり澤山だけれどもどうも終りを全うしたものが少いのでくまでも航空事業のために盡すと云ふ志操の堅い相當教育のある若い婦人のみを採用するさうだ、最初は第一期生として十名位を採

静かに祈り度い。再び亂世の音を聞きたくない。」

荒夜叉「私も平和な道を急にてゐます。」

千若丸「三界に滿てらん火とも打ち過ぎて菩提の道に進まう。」

荒夜叉（急ぐ）「今宵の準備に心せきます。僧都様もお待ち兼ねで御座いませうから一足先きに失禮いたします。」

千若丸「大儀ぢやのう。」

荒夜叉「いゝ、何ういたしまして。では御免遊ばせ。急ぎ上手に退場。

（續く）

今頃は毒の病多し

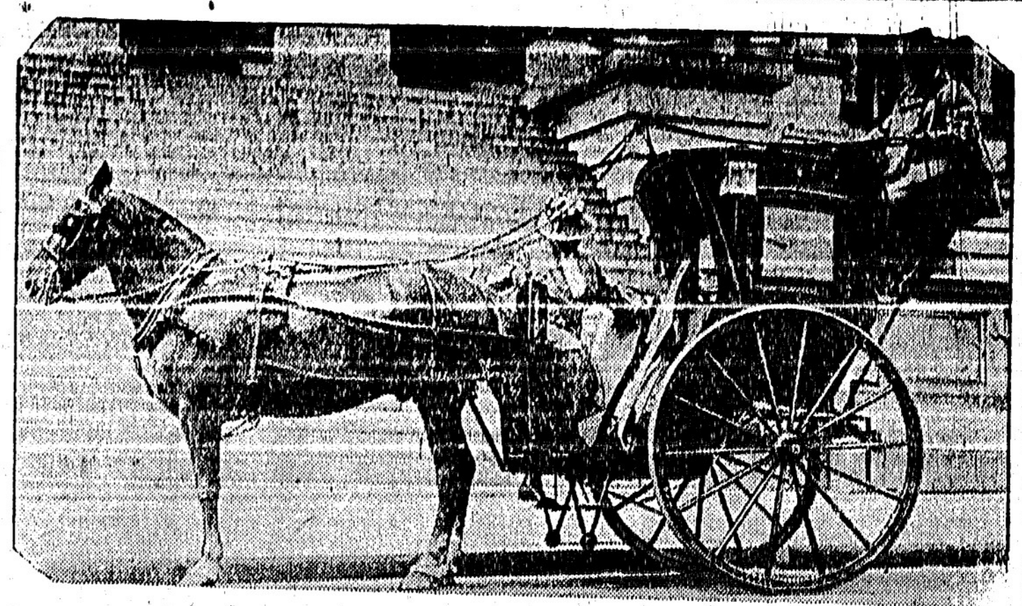
一雨毎に温くなり行く時期になりました從つて毒の病も追々に首を上げ

NIMI SHOKAI

331 POWELL ST. VANCOUVER, B. C.

新見商會

電話 シーモア 五三三一



自動車を離れる事僅か十哩にしてパーメリー夫人、此型の馬車は御所の外一張しかない（大陸寫眞）

電報

流感で大學が休校

【スポケン六日】流感猖獗を當地のゴンザガ大學生の之に罹れるもの三十五人あり爲に同校は一時閉鎖を斷行した

海電線敷設は決行

加奈陀の不滿に關せず

【倫敦六日】太洋の海底線の行悩ひで加奈陀は憤慨したが同國の金融團を泣むべく交渉進行中の発起會社は愈愈之に決行する事となつた

瑞西の反赤露氣勢

【ベルネ六日】ソヴイエット使節ウオロウスキーを殺害した瑞西人モリス・コンラデを瑞西の法廷が放免したに就て露國は憤慨しデネヴアの英佛和小像佛國に屆けないと云ひ出し瑞西以外で開けと主張して世界の輿論の裏に交渉は敗れ瑞西から通商を斷絶し赤露側では斷交を宣言した次第である反赤露の政情は當地で昨夜前潮に達したる觀あり、反露派は大會を開き瑞西主義者が之を襲ふやも知れずと見て民衆は兵備に努め民心益益緊張であつた、反露派は如何なる形式に於てもソヴイエットを認む可らずとし又假令國際聯盟から脱退するとしても國家の保全と名譽とを毀損すべからずと熱辯を振つたのであつた

十六吋砲をば搭載

する大飛行母艦の建造計畫

【倫敦六日】英國の飛行母艦建造の行方者は十六吋砲を搭載する飛行母艦の建造に就て仕事を進めて居る同時に潛水艦破壞の運動も組織されつゝありと海軍通の記者は觀察した

秩宮さまの御相手でアルプスへ

細川侯、槇氏等渡歐

登山は五六月頃か

山根研究家として又登山家としても第一者を以て許されてゐる細川護立侯は雪のアルプス踏破の壯擧を試みるべく昨年加奈陀ロッキー探檢に成功した世界的山嶽家槇有恒氏同伴、來る二月十五日横濱丸の郵船信濃丸で渡歐の途につくことゝなつた、アルプス登山は歐洲到着の上降期その他を決定する筈である、特にこの度の壯擧には目下英國御留學中の秩父宮殿下も御登山あそばされる筈で、多分五六月の候において積雪最の一定した頃を見計らつて決行することゝなるであらうといつてゐる、こと語つてゐた（東京）

箱根登山列車顚落

死傷者二十八名を出す

即死者十八名重輕傷十名

三丈餘の崖下へ眞逆樣に人家二戸押潰す

目も當られぬ宮ノ下の慘狀

十六日午後一時六分箱根頗纜鐵小田原發小涌谷行の登山列車が乘客六十餘名を乘せ同二十六分宮ノ下小學校前のカーブに差かゝるやボールが外れたり突然脫線して三丈餘の崖下に轉落しベンキ屋荒川眞吉、煙草屋吉田某二軒の家を押潰し重體は微塵に碎け乘客十八名は即死し十名の重輕傷者を出だした

遭難場は宮ノ下小學校前で當十屋ホテルの近くで、勾配になりカーブの箇所なので平常から危險視されてゐた

◇椿事の　原因は運轉手木內君が重傷のため正確には判らないが、會社側が立あつて小田原署で調べたところによるとボール

遭難した二行二十四人は久留米屋呉服店の取引先が組織する久翠會の面々で同會は

◇會員約　三十人程あり久留米屋店主中垣泰助、山中忠兵衛氏等が幹事格で毎年正月には新年宴會を催すことゝなつてゐるところで今年は昨年末の打合せ會で箱根へ遊足に決定し、十六日午前七時半東京驛發列車で箱根へ向つたものである、茲に一行と一所に遭難しなければならぬ筈の運命にありながら不思議にも一命を助かつた五人の久翠會員がある、久留米屋呉服店中垣泰助、同神田支店長中型重太、乘物町四山中忠兵衛、長谷川町一七鹿毛慶吾、畑辰夫の五氏がそれで此の五名は一行の道案內旁、宿屋休憩所の準備のため先發し十五日正午東京驛發列車で箱根へ行つて待ち受ける筈であつたのである

鐵道省から調査に

會社に手落あらば嚴罰

箱根頗羅電車の墜落椿事に關し監督官廳鐵道省監督局では直に三浦技師が眞相調査のため

◇現場へ　急行した鐵道省では頗羅電車の危險率を始めから心配しブレーキの如きもスイスの登山鐵道に使用するものを取付けしめ時々技師が出張して檢査を念がつてゐた、こんな災難はなかつたのに」と殘

自動車を電車に

模樣替へして此の遭難

遭難の久翠會員一行は此の日頗羅の一福旅館で晝食をとり富士屋の自動車で湯本に下る豫定であつたが急に電車に模樣替して塔ノ澤の福住旅館に急ぐためかけ足で發車間際の電車に飛び乘つたもので、一福旅館では「もつと引とめれば

やつてゐる、最近は震災後同電車にありながら不思議にも一命を助かつた五人の久翠會員がある、久留米屋呉服店中垣泰助、同神田支店長中型重太、乘物町四山中忠兵衛、長谷川町一七鹿毛慶吾、畑辰夫の五氏がそれで此の五名は一行の道案內旁、宿屋休憩所の準備のため先發し十五日正午東京驛發列車で箱根へ行つて待ち受ける筈であつたのである

鐵道省から調査に

會社に手落あらば嚴罰

箱根頗羅電車の墜落椿事に關し監督官廳鐵道省監督局では直に三浦技師が眞相調査のため

◇現場へ　急行した鐵道省では頗羅電車の危險率を始めから心配しブレーキの如きもスイスの登山鐵道に使用するものを取付けしめ時々技師が出張して檢査を念がつてゐた、こんな災難はなかつたのに」と殘

自動車を電車に

模樣替へして此の遭難

遭難の久翠會員一行は此の日頗羅の一福旅館で晝食をとり富士屋の自動車で湯本に下る豫定であつたが急に電車に模樣替して塔ノ澤の福住旅館に急ぐためかけ足で發車間際の電車に飛び乘つたもので、一福旅館では「もつと引とめれば

當州でハップス栽培

米人企業家の新計畫

くはやらず徐々に進みたいと思つて居る」とも語つた

領の所得稅

改正の要望

プロパテー・サウナー聯合會は六日當地で代表員の會合を開いたがデユー・ピー・ニコルス氏は領のインカム・タツキスの改正減率の要望を主張して委員一同の贊成を受け新に之が調査委員は擧げられる事となつた

今月下旬に新知事は着美

當州の新知事に任命されたランドルフ・ブルース氏は本月下旬にヴイクトリヤに來着し三月一日から官邸に住むことゝならうと豫期されて居る

アラバマ丸で積んで來た絹

六日ヴイクトリヤに着いたアラバマ丸は沙都行の荷物の中に絹製品二十二箱、生糸二千七百五十入梱あり後者の價格は約三百萬弗、又タコマ行の分の中にも生糸二百七十一梱があつた

ソーミル町へ初めての積込船

晩香坡島ブロウトン海峽の海岸にウツド・エンド・イングリツシ製材當業が新に開いたソーミル町イングルウツドへ六日丁抹汽船エリザベス・メリスク號が入つたが之が初めての製材積込船でありフロリダ市場行のランバー約百五十萬呎の積込中であると

有名な樂隊が共進會に來る

晩香坡共進會協會では今年の共進會に有名なるコールドストリームガーヅの樂隊を招聘する事となつたが會期中四日間だけ演奏するのであり猶同樂隊は本年平原諸州の主要の共進會にも出張して演奏するとの事である

七市町の商業會議所

代表者の懇親會

當地を初め北晩香坡、南晩香坡、新西院、バーナビー、リッチモンド、ポイント・グレイの各商業會議所の代表者は六日夜當市エリシウム・ホテルで懇親會を開いた、今冬之が二回目であつたが第三回は來月十二日マーボールでポイント・グレイ商業會議所の主催の下に開催される筈

電話架設增加

昨年中に南晩香坡ではヲレザーとコリングウッド兩局の電話增設一千以上に及び又ポイント・グレーでは過去二ケ年に千七百以上を增し一九二四年の一月には二千三百十であつたのが目下は四千三十七であると

半休日の變更

サモン・アームでは從來木曜日を半休日として居たが今回之を水曜日に改めた

批評と呼ばれる程の女性間で女一ライエツトの名聲は歲と共に增大の演奏（大陸寫報）

再開業廣告

弊店は先年不慮の災難にかゝり閉店の止むなきに至りましたが其後結果良好にて從前通り引續き營業致すことになりましたから倍舊の御引立あらんことを願ひます

メーン街貳貳〇　でんわシー八九四八　米滿時計店

MANUFACTURERS LIFE

マニュファクチャーラース
生命保險會社

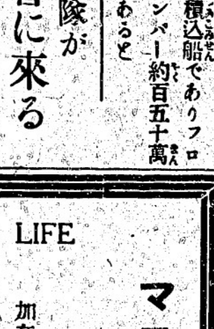
加奈陀最大生命保險會社の一にして日本各都市及び世界各國に支店あり

本部　トロント市

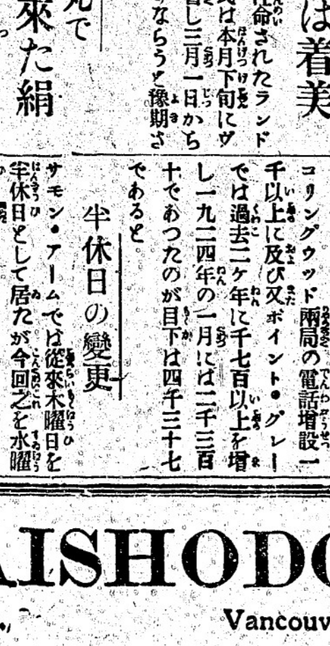
日本人部代理店
信夫淳三郎
檀上虎之助
電話シーモア二〇九四
195 Powell St.

地方代理人　ミルタリーキ～伊達　具視
ルパート　小畑佐太郎

Monarch Life
モナークライフ
日本人部代表
熊谷次郎
取カドバ街四一八
電話バイ四一二四



ねこ印
毛糸は弊店の專門で色々な種類でも持つて居ります
地方へは御一報次第見本進呈
バンクーバー
みやこ商會
バウエル街三一四
電話シーモア五七七五

TAISHODO
Phone Sey. 888
301 Powell St.　Vancouver, B. C.
有田の
驅毒劑

精神の美化、肉體の淨化、眞實東洋不二の名藥
有田ドラック代理店
指定郵便切手販賣所
大正堂
バウエルとゴーアの角　電話シー三八
ステブストン
晩香坡間
荷物運搬
みかどトランスファー
ステブストン停車場前
電話

スタイルがよくて値段が安い
御婦人及た子供衆の洋服は是非こも
寺西洋服店
婦人子供
バウエル街四一三
電話バイ四五三エル

純良新鮮ミルク配達
晩市メーン街二〇〇
ローズバンク
デーリイ
篠末松
電話シーモア三三一七

徵集延期願
證明料及手數料共にて金貳弗、外に書留返送料十五仙
日本行各汽船切符直接販賣致候
日本郵船會社
バウエル街一三五
電話シーモア一七六五
自宅バイ二三〇七アール
大阪商船
切符代理人
中山義一事務所

●日本行郵便物本局締切日
書留は三十分、小包は二時間前
爲替受付は締切時半七后一時迄
二月十五日　グラント　前九時
同十七日　カナダ丸　前九時

日、大陸福報

英國のケントン競馬場で行はれた障碍飛越競技の一場面、素早く鞍に跨つた騎手は馬の重みで打ち倒されたのであつた

戰時軍需品賣却で
米國は暴利を搾取

（電通）佛國政府は米國政府代理委員によつて米國が戰時佛國に軍需品を賣つた際に暴利を貪つた事實あることを指摘させたいと云つて駐米大使ヘレンジャー氏に對し米國政府の用意の際これを持ち出すやうに勸告したが、下院委員會の米國政府委員は佛國に膺懲價格で軍需品を賣りつけ米國政府は之が調達業者から仕拂け前の約四割入分の稅を徵收したなどと云ふ報告を駐米大使を通じて代表委員會に提出せしむる筈であるが佛國は米國が上述の如く從に軍需品賣却利潤を得て居るから佛國の對米債務總額から右利潤だけを差引かしむる意味でヘレンジャーは強硬な抗議を提出すべく操縱ざる

青年らしい元氣で
青年團聯盟會議開かる
同胞間の風紀問題に關して
各團体の活動を決議す

第七回青年團聯盟定期會議は一昨六日午後八時から仰敎部に於て開かれたが、出席した各青年團の代表者は左の如くである

聯盟委員會　澤來海藏、佐藤信次、岡部乃次、大內雄、宮本增實、千屋榮、星野良平、林林太郎、鵜澤總明▲新潟縣青年會　鵜飼榮、佐藤信次、大內雄▲クラストン青年會　神田良雄、上山榮次▲廣島青年會　三原敬郎、飯田哲代三、木村實▲福井青年會　內田武、井上一夫▲福島青年會　東海林市藏、安藤源治、大宮朔太郎▲靜岡青年會　林正作、森久松、高田乃次郎▲茨城青年會　片山榮郎、濱崎利秋

の諸氏で、澤來委員長の開會の開會があり、東海林市藏君が議長に推され、仰敎部に於ける會議の經過及び各代表から會務の報告があつた後休憩に入つた

午後二時再び會議を開き、先づ左の決議文を通過

一、時事問題研究會開催の件（福島青年會提出）　附帶林君

二、日曜學校兒童の件（磐田青年團提出）　附帶者福岡君

聯盟委員會に於て必要に應じて開催する事を一任と決し通過

三、加奈陀日々新聞不信任案の取消を自由黨に勸告するの件（スタヴストン青年會提出）　附帶林君

當局の措置に對し議會に於て質問に入らずして地に提出者側から同案を撤回する事となる

時に十二時に及び閉會し續會を明日午前學校にて開催と決定し散會

第二日目の會議は

午前十時半より開かれ直に討議に入つた

一、時事問題研究會開催の件（福島青年會提出）　附帶林君

聯盟委員會に於て必要に應じて開催する事を一任と決し通過

二、日曜學校兒童の件（磐田青年團提出）　附帶者福岡君

聯盟にて出來得る限り右運用するやう努力すること

三、風紀改革の件（磐田青年團提出）　附帶林君

左の決議文を通過

第七回定期聯盟會議は在加同胞間の風紀上の問題に對して充分の考慮を拂ひ出來得る限り改革の實を擧ぐる爲め各團体をして左の事項を實行せしむる爲め聯盟會議を開催の上決定することゝなる

米國ロード・アイランドのプロヴィデンスからボストンまで徒歩した力者エリノア・シーヤス孃、四十四哩を十一時間で歩いたのであつた（大陸畫報）

◎戰死義勇兵
＝追悼法會

古兵協會日本人支部に於ては日本人會と合同主催の下に戰病死義勇兵及び出雲汽艇遊覽船者等に故草野春華（北川增次郎）豆助（福永）勇

パルプと紙の輸出
新記錄を出した一九二五年度

加奈陀パルプ、ペーパー協會の發表に依ると昨年十二月當國からのパルプと紙の輸出は價格一千五百十二萬五千三十六弗、昨年十一月に比すれば百十五萬七千七百四十九弗の增加であり又一九二四年の十二月に比すれば二百九萬八千一百十七弗の增加であつた、昨年十二月のウッド・パルプ輸出は四百六十二萬五千三百三十弗、紙の輸出は一千四十九萬九千七百六弗であつた

漁鑑の創減はない
第一區土曜日から再發給
中止は二區の割當からか

スタヴストンに於ける漁業ライセンスは一時その發給を中止されたが種々と噂を生んで居たが、土曜日から再發給され、今年は全然創減はないと云ふ事になつた、これは第一區許りではなく、第二區に於ても同樣であつて、漁者聯絡協議會のラドルフ幹事は、何等その方面の通知に接して居ないと云つて居た、右に關して商務スタヴストン幹事は目下米漁業者のライセンス創減の問題は、漁員會の方では出たらしいけれ共、本年は何等創減される樣な事はなく、一昨日から發給されて居る、一時中止されたのは創然した事はわからないけれ共、第二區の方のキナリーの關係問題からではないか、と想像される、ザヴエルについてきいて見たが、氏も全然知らないと云つて居たが、何れにせよ漁者は漸く安心して居る

◎カナダ號入港

エムプレス・オヴ・カナダ號は本日午後五時當市へ入港の筈にて同船には三菱造船所技師であり、當市領事河相氏夫人の令嬢に當る工學士河相清氏が乘つて居るとの事と說

◎日本は健實
ベーツ博士
土曜の講演

既記キワニス倶樂部員に極東關係の講演をして多大の感興と印象とを與へた關西學院院長ベーツ博士はエンプレスでの渡日の前日六日の午後市內アンバッサダー・カフエーに於て加奈陀合同敎會の代表的牧師等の前で再び講演を爲し變遷の間に立つて日本はデプラルターの巨巖の如く屹立し健實と安定と保障の感を極東諸邦に與へて居る、支那と印度と露西亞とは環境變遷の渦中にあるが日本は他國に於けるが如き大革命の何物もなしに進步と發展の道程にあるのである

◎陪審も大仕事
ナッシの裁判

彼告五十三を算し大仕掛で一月十八日に開廷されたナッシ裁判は本日午前十一時續行されたが今の所では裁判はいつ閉廷となるや見當もつかない、檢事の側では二週間に亢帳や送狀、書翰など書類約千二百點を陪審に示したが陪審も大仕事に閉口して居る、法廷は會計士を召喚して之等の書類に就て檢

◎大當りの香椎の馬方
「本派佛敎靑年會」の舊劇の試み

◇一昨土曜日の夜アベニウ座で開かれた西本願寺靑年會主催の「演藝會」——實は會員の舊劇試演——何時も新派劇ばかりやつてるのを今度は目先を變へて舊劇といふのが呼物になつて定刻前に三階まで一杯になるといふ大入り

◇初めに据ゑたのが「九州土產香椎の馬方」三幕——福岡藩の城代栗山左膳が巡禮姿になつて民情

▲南洋調査

本社東京特電

大藏省は南洋方面への發展に關聯し調査其他の事業に就て調査中である

▲組合法案

勞働組合法案は愈〻議會に提出することに臨時閣議で決定

▲憲本妥協

憲政會は極力政府の立場を鞏固にすべく只管政府に追隨しつゝあり稅制整理問題では本黨との妥協が期待されて居る、本黨は鐵道豫算に就て反對であるが裏面には妥協の色合がある（本日着電）

◎ハモンド通信

當地母の會員は五日午後二時からメープルリッヂ白人基督敎婦人會の招待を受けて十數名出席、ウイケンス夫人の日本支那その他に於ける婦人會、母の會等に就ての報告があつてから一同茶菓の饗應を受け談笑裡に散會したのは四時であつた

◎講演會

一昨夜ダラートンに於ては講演會が開かれ左の諸氏が雄辯を揮つた

司會者山岸▲「友を選べ」國行▲「倒れぬ前の杖」都田▲所感　小穴牧師

◎井上氏來晩

以前日加貯蓄にあつた井上專之介氏は三共會社の社員として當地詰となり夫人同伴六日入港のあらばす丸にて來晩した

◎邦人船客

一昨六日美府入港あらばす丸にて同地上陸者左の如し

兵庫　井上專之介、同ひで　東京　松尾薰▲千葉　松尾靜江▲沖繩　玉城清光▲滋賀　辻信　同つる、田畑傳次郎、同繁▲福岡　吉川十郎、同ツヨ、同ヤス子

◎移轉

ピーシー・ペニガー會社就働の森氏は今度東カドバ街八三七に移轉した

歸國御禮

私等今回當港出帆のエシヤ號にて歸朝致候に就ては多大なる御厚情に預り且つ御多忙中能々御見送下され別に御禮狀を以て申述候へ共右取敢ず紙上にて御禮申上ます先は不取敢以紙上御禮迄

二月八日　山村政太郎

追悼法會

戰病死義勇兵並出雲汽艇遭難者追悼法會

來る二月十四日（日曜日）午後二時より共立語學校に於て佛佛敎會開敎使司式の下に執行致しますから在留者諸彦の御參列を希望す

大正十五年二月八日

古兵協會主催者　日本人支部
加奈陀日本人會

歸國御禮廣告

私宅一同此度エシア號便にて歸國致すに際し多大の御餞別を賜はり猶御多忙中能々御見送り被下御厚意の程深く御禮申上ます先は不取敢以紙上御禮迄

二月八日　山村政太郎

アパートメントハウスの賣物
室數　二十
價格　千三百五十弗
リース　二ケ年半
定宿する御客多し
水原事務所
メーン街コーヤル銀行二階
電話シー三四四七

不動々產賣買
各種保險代理
加奈陀在留
邦人名簿
定價　一冊　壹弗
編纂事務所
バウエル街二三四
電話フェヤー二一七アール
岸本憲一

診察時間
自午前十時　至午後八時
內外科　婦人科　小兒科
公認　下高原醫院
ドクトル　下高原幸藏
事務所　バウエル街角
自宅　フェヤビー西第十街三四三
電話事務所シー二五五九
同自宅ベビユー二四〇六
不在中はシー二〇六二

一、血液檢査及び六百六號藥は九百十四號の注射治療をなす
一、ウヲークーン・コンベセーション・ボードに關する手續を教しますから怪我をせられし者は至急本院を尋ねられよ
エキス光線及紫外線療法の設備あり

接骨の依賴に應ず
時間　自午後六時半至八時
東チヨーチヤ街七三八
電話ハイ一二四九エル
小山

診察時間……自午前九時至午後六時
ダンレビー街上西旅館七號室
俊間診察……東第三街一九
電話フェヤー二一七アール
岸本憲一

寫眞
エムプレス寫眞館メーン街ヘスティング街角フルッ店上
電話シー八六一一村上眞吾
肖像畫は古寫眞から出來る

極安い
メーン街
二三四
上野家具店電話シー二四四
御覽の上御買求め下さい

加奈陀在留
邦人名簿
定價　一冊　壹弗
編纂事務所
バウエル街二三四
電話フェヤー二一七アール
岸本憲一

公認　下高原醫院
ドクトル　下高原幸藏
事務所　バウエル街角
自宅　フェヤビー西第十街三四三
電話事務所シー二五五九
同自宅ベビユー二四〇六
不在中はシー二〇六二

診察時間
自午前十時　至午後八時
內外科　婦人科　小兒科

接骨の依賴に應ず
時間　自午後六時半至八時
東チヨーチヤ街七三八
電話ハイ一二四九エル
小山

五十仙タキシー
電話シー二一六九
福村

ナナイモウェリングトンコール
松マキ各種
電話モアー一七五八
話自宅フヤー二三四二
平家薪炭商會

マキ及びコール販賣
コール一ふくろ七十仙
一とん一弗五十仙
電話シー六五七三（岡田茂吉）
住宅マポール五二三ワイ
大倉

辯護士
エ！エッチ・ヤング
（日本語を話します）
東ヘスティング街一九三
事務所メーンヘスティング街角
ドウソン建物四〇一—四〇二
電話シーモア一六一七

靴製造並に修繕
メーン街二三五
小野田靴工場
電話シー四九六六

うどん
そば
御めし
月
うどんそばは手打製です

千葉自動車
メーン街一〇八裏
電話シーモア
八八三
市內四人迄五十仙

電話シー二五二四
ミカドタキシー
市內五十仙

名畑　タキシー
電話　エキスプレス
ハイ七六五
市內　五十仙

ダイヤタキシー
市內五十仙
電話シー四九六六

Sey
3696
市內五十仙
山崎商會內
サンヨータキシー

シーキシー
でんわ
シーモア五八六
高田タキシー

仙タキシー五十
でんわ
シーモア九五
ヤマタキシー
サイドカーテンの裏及びセルロイドス替へ

時間每二時發着　前九、〇〇後四、〇〇　一二、三〇　一〇、四五
バンニップ　カリフラワー
トマトー　ターニップ　胡瓜　一、三五　九、一〇　一、三五　一、三五
ナナイモ行　前八、〇〇後六、〇〇　一二、三〇　一〇、四五
スキナ行　後一一、〇〇（火）　後一一、〇〇（水C.Z.）後九、〇〇（木C.P.）　八、〇〇ヨリ（前同上）
ナナイモ行　前八、〇〇後六、〇〇　一二、三〇　一〇、四五
ブルワック行　前八、四〇後一二、五五　五、二五

今明日の天氣豫報

	火曜日	午前	午後
	九日	二、四七	九、〇三
月曜日	午前	四、二七	午後 九、一五
	一、四一		九、五一

東南風、暖し雨（昨日五度）

小說

夜の潮

(三)

中村武羅夫作

女王の如く (1)

二人は以前、女案内人に導かれた二人の部屋まで歸つて來た。彼女は疲れた樣子で椅子に腰を下ろした時、電氣の下事の方で、幕間の拍木の聲がかちかちと鳴り出した。フットライトがパッと舞臺の上に照いた。華やかな電氣の光りは一時にムッと消えた。

右でも、左でも、前でも、後でも、見物人が騷がしくひざいていた。

幕は上がつて、舞臺には目覺めるやうな大廣間の色彩が華やかな電氣の光線の下に照し出されて派手な裝飾や、色彩の衣裝を着けた役者が、入れ代りにいろんな仕草を始めた。けれどもどし子は芝居を見てゐるどころではなかつた。先刻、下に降りて來る時、廊下のカーブのところで、ちらと見て、その次の瞬間には、もう日本の隣に座つてしまつて、何處にどうなつてしまつたものかどんなにその行方を求めても、探し出すことの出來なかつた、青木俊作のことで彼の女の心は一杯であつた。

もとより、三階正面の一番目立つ處に、青木俊作の現在の生活の全部を自分の眼に見せてくれるといふ非常な約束が非常であるといふ上、決して行はないことではない。井上のその約束が嘘でありそして俊作が、この劇場の中に來てゐる以上は、今のさつき敏子がちらと後姿を見て、それきり見えなくなつたのが、實際の俊作でないといふことがどうして云ひ得られよう。自分はたしかに俊作を見たのであるまた敏子はさう思はずには居られなかつた。

どし子は自分自身の口から井上武雄に向つて斷言した通り、なほへ、何千人何萬人の人の中になど一人の青木俊作が來てゐようとも、それを決して見逃したり、見誤つたりするやうな自分ではないといふことを信じてゐる、階段のカーブの所で、彼の女が彼れの姿を見たと思つたのは、正しくそれはほんの暇らする一瞬間のことである。それも彼の姿全體を見たわけでもなければ、また彼の顏を見たわけでもない。たゞどちらかと、體が感じかわからないやうな、面ばかり殘いてゐる人ごみの中で、彼の女は彼の後姿と、顏とを見わけることも出來なかつたので、仄暗い座席の方では人の姿を見わけることも出來なかつた。どし子の心はいたづらにあせり、徒らに物狂はしくなつて行くばかりであつた。

幕が上がつてから幕がふりるまで、その一幕の終る一時間ばかりの間が、どし子には實に一年も十年もの長さに感じられる。はの暗い見物席の中で、どし子はいたづらに氣をいら立てながら、俊作一人の姿を求めてゐるうちに、觀衆の方では位いたり、突つたりする。そして、氣が濟せられる。そして、氣がついて、彼の女が觀衆の方をみた時には今、幕がざわ〳〵とふりるところであつた。見ゐをしてゐる役者の顏がかくれ、顏がかくれ、肩がかくれ、腰がかくれ、膝がかくれ、足がかくれたかと思ふと、フット・ライトがフッと消えて、垂れ下つて來た緞帳が床につかへて裾の方がゆらゆらと搖ると、見物席が一時にパッと明るくなつた。

どし子はこの間だと思つた。そして、急いで彼の女が見物席を見廻しはじめた時にはもう見物人は十何分かの休憩を廊下の方へ出ようとして、ざわ〳〵とざわめき始めてゐる時であつた。がた〳〵と椅子から立ち上がるもの、何か小聲で喋くるもの、今見た芝居の批評をしてゐるもの、役者の惡口をいふもの、それから觀衆へは大道具を取りかへる金槌の響きがした。

オトギバナシ

アタラ姫 (一)

はすのよし子

アタラ姫は、ありとあらゆるお姫樣方の中で一番美しいお姫樣でした。

そこで、アタラ姫を、お姫さまに欲しいと思ふ若者が、たくさん居りました。でも、姫は、自分の美しいのうやうのために、すつかり高慢になつて居りましたから「人間なんどのお嫁さまにはなるものか、天へ上つて、人間より、もつと〳〵美しい神さまのお嫁さまになつてやらう」と考へて居りました。

大勢の若者たちは、姫のさうした考へ方も知りませんから、毎日、毎日、姫のところへ御機嫌伺ひにまゐりましたが、姫は、少々も、それがうるさくなつたので、大へん意地の惡いことを考へ出しました。

「みなさん、みなさんが、私をお嫁に欲しいと思ふなら、私を駈けくらべをなさい、さうして、勝つた方のお嫁さまになりませう、でも若しお負になつたら、その方は、皮の鞭で百づゝ打たれなければなりません」

ところが、アタラ姫は生れながらとても早足で、一度本氣で駈け出さうものなら、風の神でも、とても適ふまいと思はれる程の早さなのでありました。御案内たちは、それを、ちやんと知つて居りますので、さう云ふことを云ひ出したのは、別の意地惡からだと、すぐに氣がつきましたが、若者たちは、それが分りませんでした。

御菓子、書籍、雜誌
(雜誌は特に廉料無料)
パウエル街四三七
鈴木菓子店
電話ハイ七七一

洋服洗濯
並にプレス染物
アベニウ ダイオーク
晩市キーフアー街七一一
電話ハイ一六五〇
中塚幸次

婦人小供服裁斷
縫方實地教授
東カドバ街四一六
電話ハイランド四二四
熊谷みつ子

板 熊
かまぼこ製造
ダンレビー街一〇七
電話シー四一六四

室内清潔
各室共湯ホヒーター
晩市パウエル街三二六
キングルーム
松岡藤四郎
電話シーモア三五七二ニー

男子の洋服
スタイル、品質、技工
晩市西ペンダー街五〇八
電話シーモア八〇三五
多田洋服店

今度メーン街へ移轉して營業の開は出張致しを致しますから何分御引立を御願ひ申ます
有門
寫眞館
東カドバ街七四七
電話ハイ八七六
ステブストン停車場となり
支館

△食料品
晩雪坂市メイン街二〇八
清水商店
電話シーモア二五五七

尋人
秋田縣人根南佐太郎の現住所御存じの方は御厄介ながら左記まで御一報御願申ます
晩市パウエル街四ト三
鵬島商店内
隆香ユミ子

▲木材輸出商
プリンセス街三三五
花月事務所
電話ハイ一四五
334 Princess Ave.
Vancouver, B.C

帽子洗濯並に染替
男女
取次所
メーン街一八五
(村田プレス屋内)
東カドバ街七〇二
電話ハイ四一三ニエル
鮫島帽子洗濯所

靴商案内

パウエル街三三八
加藤靴店
電話シー二二六九
住宅 アレキサンダー四一四
ハイランド三五五エル

パウエル街三四五
名畑靴店
電話シーモア七八一九

パウエル街二五八
小澤靴店
電話シー三七二一
住宅 東カドヴァ街五五七
電話ハイ三〇四二ワイ

按摩針灸術
電話にて御用仰付け下さい
ユーコン街ミカド倶樂部裏
山田政次郎
電話フェヤ四八三五アール

先祖傳來
並に按摩按腹及骨つぎ
小供のかんの灸
ダンレビー街二二七
鎌倉
電話シーモア三五六九エッキス

名人
男女諸病一切
節遠ひ
雜貨食料品
晩市東カドバ街一五一
紀伊商會
電話シーモア六八三

新古賣買
及金物類
東カドバ街一五七
森山家具店
自宅東カドバ街七三
電話シーモア三七七二

鳥類卵
豆腐類
種々御注文に應じます
(喜森高豆腐店)
晩市ゴーア街二一六
宮崎商店
電話シーモア八八七エル

和洋雜貨食料品
ニユー・ウエストミンスター市
コロンビア街八三七、八二九
西口商店
電話 一二六一
自宅九〇九X

●魚類
●肉類
●青物類
●カマボコ
●和洋食料品
パウエル街二六二
田中六彌
電話シーモア五六六一

和洋雜貨
日用品一切
ポートエンシトン (郵函二七)
龜田商店

運搬業
御用に應じて何時でも
奥津平四郎
東(ステングス街三〇七
電話シーモア三〇二〇

P.O. Box 27
Port Essington, B.C.

大工 前迫
紙はり
東カドバ街三三〇
電話シー五二九五エル

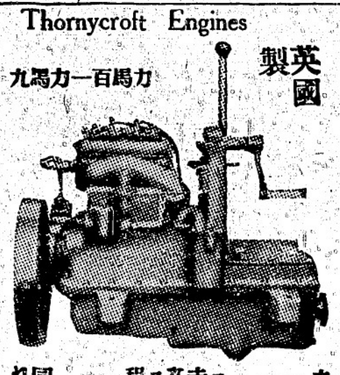
大工 竹中佐七
バウエル街三二五
電話ハイ一九五二ワイ

漁業用具一切
△ギヤソリンエンジン
△アント、オーニング
VACラバブーツ
エドワード
リプセット
Phone: Sey. 6021 6022
68 Water St.
Vancouver, B.C.

雜貨食料品
晩市パウエル街六六六
㊞ **梶木商店**
電話ハイ貳貳五二

次第一切
松宮
瀨野
雜貨店
電話シーモア四一九一

Thornycroft Engines
英國製
九馬力一百馬力



九馬力
レデユーシングギヤー
八百五十弗
トローリングに最も適し
エンジンの音が非常に靜かで走航中もエンジンが動いてゐない程の靜かさである
スタートのイージな事亦驚く程なり
日本人部は
中津常吉氏(照會
スタブストン郵函六五
同氏は此エンジンを使用し居れり
GENERAL TRADING CO. LTD.
SEY. 2382 409 HORNBY ST. VANCOUVER, B.C.

男物一切
晩市パウエル街二一八
日英商會
電話シーモア一六〇〇

スプリングネット
最上等の**スコツトランド**製
特に—安く賣ります
此機會を見逃しなく一時も早く乞御注文
晩市ビーアー街五〇〇(タワー建物)
クロフオード スチユアート
代理者 ジエー・エス・テート
電話 シーモア五五五

御婦人お子供用物なら
澁谷雜貨部
家具なれば何んでも
澁谷家具部へ
晚市パウエル街三七八
電話シーモア六三六二

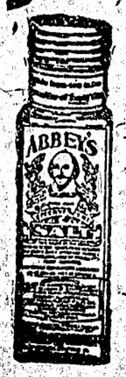
其他自動車附屬品一切
晚雪坂市メーン街アレキサンダー街角
日本オート
電話シーモア一四五八

世界の高き
グッドヤー
タイヤ

大勉強で御用命に應じます
元八唯一のグッドヤー
タイヤ特約代理店

御婦人用
お子供用
澁谷雜貨部
家具なれば何んでも
澁谷家具部へ
晚市パウエル街三七八
電話シーモア六三六二

Abbey's SALT



アベース・ソルト

中背と痛みに
頭の痛みに
特効あり
飲みいです
何れの藥店にもあり

貴金屬寶石類
金銀時計修繕
和洋美術、雜貨
新西敏市第八街三九
中村時計商會
電話一〇六九エー
店主 中村助次郎

東カドバ街一六三—一六五
和洋雜貨食料品
松宮商店
電話シーモア三五九七

御婦人 御子達
其他切地 毛糸類
衣類專門
格好品一切
晚市パウエル街三二八
電話シーモア八七三三
東山商會

一寸御耳を
月〇〇止つて又々煩悶
月〇〇不順で病百出
暗い惱みを早く癒す
改良 **通經膠**
を召上れ!
定價 二弗五十仙
五弗
御婦人の惱みを防ぐには

ハートの友	一、二五	
貴女の友	二、五〇	
乙女錠	二、〇〇	
實母散	一、五〇	
中將湯	二、〇〇	
命の母	一、三〇	
三日散	二、〇〇	
保命湯	一、〇〇	

パウエル街二三一
電話シー壹參參五
新見商會

感冒が流行
只今の感冒は油斷が出來ません
御風を召したらお早く新見商會の良藥を御服用下さいませ
熱サマシには何と云つても一番良くキクのは
高等風藥
五十仙と一弗
セキ止めとして一番よくキクのは
鎭咳液 七十五仙
鎭咳散 五十仙
△子供樣の風には左記の藥を
小兒風藥 五十仙
熱サマシの良藥であります
小兒鎭咳液 五十仙
セキ止めの良藥であります
百日咳鎭靜液 一弗
百日咳の良藥であります
百日咳には御迷ひなく百日咳鎭靜液を御使用下さいませ本品は最近發見の百日咳專門良藥であります
NIMI SHOKAI 331 Powell St. Vancouver, B.C.

片岡弓八氏が寶探しの會社

友人と共同で新設

手ハジメに日本近海を掃海

偉力 を出すのも近いことであらう、當の片岡氏は語る

「やつと新しい事業への思ひ通りのお膳立が出來ました、潜水用鋼鐵船は內地製のもので、先はロットであつたのを買受け入坂丸の時の經驗によつて改造したもので立派なものになりました、潜水夫は十二名乘組むことが出來るから一ぱし見た所では遜色ありません」

完成 した喜びをつゝみかねて井關氏は語る

老人のことですから最近科學の智識がないので十分だとは云はれませんが、自分としては十分自信のあるものです。發明の要點はワイヤーの重量と裝塡せられた爆藥との調製を按分したのでこの方法によれば深海でもまたどんな急潮なところでも自由に海底の深度と均衡がとれ、一定の船體は二月頃になる、なほ實用に變てゐる、その中には外國（同じく名を秘してゐる）からもたつてのお願ひを申し込れで來てゐるのもある、そこで片岡氏は今

熟練 の潜水夫三名以外に十名を養成し、鋼鐵船は勿論から始めて組立てゝから機械の据付け急いでゐるが二月初めに試運轉を行ひ、最初の事業は遠海を一めぐりして、探して見るつもりだ、なほこの鋼鐵船は五十二噸といふ小さなものだが、潜水夫も來谷阪にも出かけることなさ、何でもないとのとを

偉業 の計畫は

深海 一月十九日の晨夜中、栃木縣谷阪町郵便局の配達夫山口徳次郎氏方の戸口に現金九百圓入りの現行鞄をなげ込んで逃走した、犯人は當の片岡氏がなり、後には東京船取締役補三氏とはじめ職業人十一名と云ふ顧れである、金額は一月一日にあげ、翌日は二月十日々の內の午上ビル三階で始めるが、はいつもの大仕事に生死を共にした潜水夫の人々だらう、しかしこの

祭利 的には片合はず關內地及外國から金塊貨の仙酒を深く沈めてしまつた實さがしの申し込みを受ける、當の場所、いはゆる仕事の心構だと云つてゐる、が、詳細から「あそこに沈ませた船に實があるから是非あげてくれ」と云ふ依のよい申し込が數ケ所から

現はれた強盗

◇配達夫の鞄

◇一月十九日の晨夜中、栃木縣谷阪町郵便局の配達夫山口徳次郎氏方の戸口に現金九百圓入りの現行鞄をなげ込んで逃走した、犯人は當の片岡氏がなり、後には東京船取締役補三氏とはじめ職業人十一名と云ふ顧れである、金額は一月一日にあげ、翌日は二月十日々の內の午上ビル三階で始めるが、はいつもの大仕事に生死を共にした潜水夫の人々だらう、しかしこの

祭利 的には片合はず關內地及外國から金塊貨の仙酒を深く沈めてしまつた實さがしの申し込みを受ける、當の場所、いはゆる仕事の心構だと云つてゐる、が、詳細から「あそこに沈ませた船に實があるから是非あげてくれ」と云ふ依のよい申し込が數ケ所から

◇しかし強盗は少しも恐れず鞄を用の山刀を振いて破と破り合つて、どうく破を追ひ拂つて破と破り合つて、どうく破を追ひ拂つて破はなした、以上は二十日朝、強盗が矢板驛へ歸た事實である

◇ところが同人の申し立てがおかしいといふので、警察官が取調べたらそれはみんな山師目であつた、強盗は八人も潜夫をやつてるるが月給やつと二十圓でどこもやつて行けぬ、そこで鞄の紙束を持へ「そしたら月給をあげてくれるだらう」と相談したものだとは衆はせる

×　×　×

狐退治の迷信から

母親と祖母を燒殺す

娘と親戚五人とが集まつて氣絶させ線香イブシ

千葉縣東葛飾郡福田村大字福田、農佐藤ずゑ（一）の母やす（八）は精神に異狀を來したところ、すゑと同人の父にあたる藤五郎（五）及び親戚のものはつねにつかまれたものだと信し、大勢してやすを取巻き前額を押つけた爲めやすは苦悶の中に頭髮をはじめ全身燒けただれ無慘に絶したのである

◇

つねにつかまれたものと思ひ、同樂の手段で同夜七時頃殺害したことが最近判つた、はたして黃金でなくナマリにしても約四百噸內外であり十四萬圓の相場になり、仮令ナマリにしても約四百噸內外であり十四萬圓の相場になり、仮令

百發百中の機雷

呉の一商人が老後の發明

敷設 方法に關する新機軸を發明し昨年十二月上旬家事を放棄して鳴門海峽附近に出かけこれを實驗したところ敷設海面十町の附近を航海の艦船ならば百發百中なほ潜航中の幼稚なためキールでもあり十四萬圓の相場になり、仮令ラインに觸當なる重量物のバラスを使用されたが、そのバラスは筋

「嚴島」の拂下に濡れ手に粟の大儲け

船の底に金か鉛かを詰められた四百噸のバラス

御呉海軍の一當局は曰く

發明の內容が判らないので何とも答へられぬでもしその方法をもつて效果があるとすれば我海軍の誇りのみでなく世界海軍に對する一大驚異とせねばならぬであらう。從來海軍の機雷は五十噸以上の海底になると敷設作業に困難なばかりでなく水壓でワイヤーが切斷したり觸海にも餘程苦心と危險を伴ふのであるが、どにかくこれを研究するといふ熱心には敬服する外はない

叔父に對し一萬圓請求

貞操を蹂躙された代償

廣島縣神石郡新坂村中川たつの（二）は同人の後見人であつた中村入百吉（四）に對して貞操蹂躙料一萬圓の請求訴訟を、一月十九日廣島地方裁判所尾道支部に提起した、たつのは十歳の時兩親に死に別れたので入百吉が後見人となつたが妻に死に別れて獨身でありかつたつの〻美貌に無分別の戀を寄

電柱のテツペンから

「是れが此の世の見納め」と叫んで飛降り自殺

一月十九日午後九時半頃東京深川區洲崎辨天町二の五先にある東電の電柱（高さ二十尺）の頂上（酒氣を帶びた若者がスラ〳〵とよぢのぼり「之がこの世の見納めだ」と高唱してそのまゝ地面へ飛びおり人事不省に陷つたので洲崎警察官が附近の小川醫院へ收容手當中であるが背部に打撲傷を受けたゞけで一命は取りとめるらしい、身許は常人の財布中の名刺により深川石場町入大工河上方遊智驛生まれの石川金貴（二）と判明した

せたつのが小學校を卒業した十六の春三百圓の財產を讀り渡すと甘言を弄して情を通じ子までなしたので昨年秋其子に財產讀り渡しを請求したところ入百吉には本年廿歳の先妻の子があり、既にその子に財產を讓づて置いた事がわかり斷然を提起したのである

うぐいす餅

晩市バウエル街三九二一

住よし

電話シーモア四七五

百發百中の機雷

呉の一商人が老後の發明

敷設 方法に關する新機軸を發明し昨年十二月上旬家事を放棄して鳴門海峽附近に出かけこれを實驗したところ敷設海面十町の附近を航海の艦船ならば百發百中なほ潜航中の幼稚なためキールでもあり十四萬圓の相場になり、仮令ラインに觸當なる重量物のバラスを使用されたが、そのバラスは筋

「嚴島」の拂下に濡れ手に粟の大儲け

船の底に金か鉛かを詰められた四百噸のバラス

御呉海軍の一當局は曰く

發明の內容が判らないので何とも答へられぬでもしその方法をもつて效果があるとすれば我海軍の誇りのみでなく世界海軍に對する一大驚異とせねばならぬであらう。從來海軍の機雷は五十噸以上の海底になると敷設作業に困難なばかりでなく水壓でワイヤーが切斷したり觸海にも餘程苦心と危險を伴ふのであるが、どにかくこれを研究するといふ熱心には敬服する外はない

叔父に對し一萬圓請求

貞操を蹂躙された代償

廣島縣神石郡新坂村中川たつの（二）は同人の後見人であつた中村入百吉（四）に對して貞操蹂躙料一萬圓の請求訴訟を、一月十九日廣島地方裁判所尾道支部に提起した、たつのは十歳の時兩親に死に別れたので入百吉が後見人となつたが妻に死に別れて獨身でありかつたつの〻美貌に無分別の戀を寄

電柱のテツペンから

「是れが此の世の見納め」と叫んで飛降り自殺

一月十九日午後九時半頃東京深川區洲崎辨天町二の五先にある東電の電柱（高さ二十尺）の頂上（酒氣を帶びた若者がスラ〳〵とよぢのぼり「之がこの世の見納めだ」と高唱してそのまゝ地面へ飛びおり人事不省に陷つたので洲崎警察官が附近の小川醫院へ收容手當中であるが背部に打撲傷を受けたゞけで一命は取りとめるらしい、身許は常人の財布中の名刺により深川石場町入大工河上方遊智驛生まれの石川金貴（二）と判明した

せたつのが小學校を卒業した十六の春三百圓の財產を讀り渡すと甘言を弄して情を通じ子までなしたので昨年秋其子に財產讀り渡しを請求したところ入百吉には本年廿歳の先妻の子があり、既にその子に財產を讓づて置いた事がわかり斷然を提起したのである

うぐいす餅

晩市バウエル街三九二一

住よし

電話シーモア四七五

完成 した喜びをつゝみかねて井關氏は語る

老人のことですから最近科學の智識がないので十分だとは云はれませんが、自分としては十分自信のあるものです。發明の要點はワイヤーの重量と裝塡せられた爆藥との調製を按分したのでこの方法によれば深海でもまたどんな急潮なところでも自由に海底の深度と均衡がとれ、

偉力 を出すのも近いことであらう、當の片岡氏は語る

「やつと新しい事業への思ひ通りのお膳立が出來ました、潜水用鋼鐵船は內地製のもので、先はロットであつたのを買受け入坂丸の時の經驗によつて改造したもので立派なものになりました、潜水夫は十二名乘組むことが出來るから一ぱし見た所では遜色ありません」

深海 一月十九日の晨夜中、栃木縣谷阪町郵便局の配達夫山口徳次郎氏方の戸口に現金九百圓入りの現行鞄をなげ込んで逃走した、犯人は當の片岡氏がなり、後には東京船取締役補三氏とはじめ職業人十一名と云ふ顧れである、金額は一月一日にあげ、翌日は二月十日々の內の午上ビル三階で始めるが、はいつもの大仕事に生死を共にした潜水夫の人々だらう、しかしこの

祭利 的には片合はず關內地及外國から金塊貨の仙酒を深く沈めてしまつた實さがしの申し込みを受ける、當の場所、いはゆる仕事の心構だと云つてゐる、が、詳細から「あそこに沈ませた船に實があるから是非あげてくれ」と云ふ依のよい申し込が數ケ所から

現はれた強盗

◇配達夫の鞄

◇一月十九日の晨夜中、栃木縣谷阪町郵便局の配達夫山口徳次郎氏方の戸口に現金九百圓入りの現行鞄をなげ込んで逃走した、犯人は當の片岡氏がなり、後には東京船取締役補三氏とはじめ職業人十一名と云ふ顧れである、金額は一月一日にあげ、翌日は二月十日々の內の午上ビル三階で始めるが、はいつもの大仕事に生死を共にした潜水夫の人々だらう、しかしこの

祭利 的には片合はず關內地及外國から金塊貨の仙酒を深く沈めてしまつた實さがしの申し込みを受ける、當の場所、いはゆる仕事の心構だと云つてゐる、が、詳細から「あそこに沈ませた船に實があるから是非あげてくれ」と云ふ依のよい申し込が數ケ所から

◇しかし強盗は少しも恐れず鞄を用の山刀を振いて破と破り合つて、どうく破を追ひ拂つて破と破り合つて、どうく破を追ひ拂つて破はなした、以上は二十日朝、強盗が矢板驛へ歸た事實である

◇ところが同人の申し立てがおかしいといふので、警察官が取調べたらそれはみんな山師目であつた、強盗は八人も潜夫をやつてるるが月給やつと二十圓でどこもやつて行けぬ、そこで鞄の紙束を持へ「そしたら月給をあげてくれるだらう」と相談したものだとは衆はせる

×　×　×

狐退治の迷信から

母親と祖母を燒殺す

娘と親戚五人とが集まつて氣絶させ線香イブシ

千葉縣東葛飾郡福田村大字福田、農佐藤ずゑ（一）の母やす（八）は精神に異狀を來したところ、すゑと同人の父にあたる藤五郎（五）及び親戚のものはつねにつかまれたものだと信し、大勢してやすを取巻き前額を押つけた爲めやすは苦悶の中に頭髮をはじめ全身燒けただれ無慘に絶したのである

◇

つねにつかまれたものと思ひ、同樂の手段で同夜七時頃殺害したことが最近判つた、はたして黃金でなくナマリにしても約四百噸內外であり十四萬圓の相場になり、仮令ラインに觸當なる重量物のバラスを使用されたが、そのバラスは筋

講談

義侠 磯端伴藏 〔第壹席〕

岡流齋英山講演
長谷川小信挿畫

それは千吉郎、これなるは弟の一千吉郎、これなるは弟次郎と申す者、父助解山が臨終の手為六郎の為めに戦い討ちに相成りましたる故、その仇を討たんが為め、斯く兄弟二人一所に諸國を歩いてゐる次第でございます、『コレ、ン右様か、シテ何歳になられる、六『私は廿一歳、弟は十歳の若年者で御座います、父を討たれたのは幼い頃でございましたから、敵の顔はよくは存じませぬが、只今迄つて居りました坊主がドウも手為大五郎によく似て居ります、伴『成る程、彼奴が敵に相違あるまい、彼奴は只今茶店の部屋へ参り後に伴藏は在家風念の部屋へ『コリヤ西念、汝は岡山の侍士で手為大五郎と申した奴であらう』と言ってキッと西念の顔を睨みつけました

汚い寺でございますがそうぞお上がり下さいまし、ソレにも日が暮れかゝりましたから、今夜一晩お泊りになつては如何でございます『大儀か、別に急ぐ事でもないから、そんなら一晩厄介になるとに致そう』西『ソレが宜しうございます、サア何うぞお通り下さい』と西念は伴藏と武士を連れて、例の入口の釣天井の間に通しました、伴藏はハテ此處が釣天井なヨシ天井を切らないなちに彼奴を斬つて捨てやらうと、若武士二人に向つて『時に御兩所お供は御武藏の御姓名を承はらぬから、何と御名乗り下さいまし』と言ひ掛けた時、